

第 2 1 期事業報告書

自令和 5 年 4 月 1 日 至令和 6 年 3 月 31 日

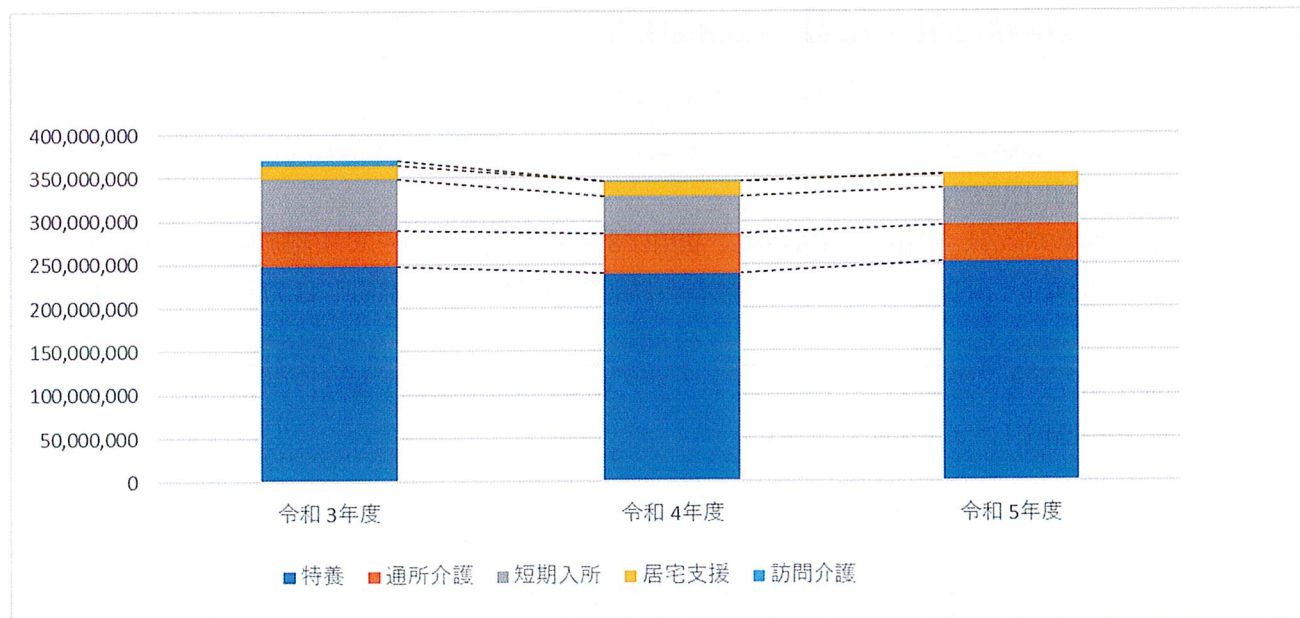
I. 事業の経過及び成果

1 【経営環境及び収入高の状況】

今期も新型コロナウイルス感染症に加え、諸物価高騰の影響を大きく受ける事となりました。新型コロナは職員、利用者の散発的な感染からクラスターに至るものまで規模の差はありましたが、その都度入所や短期入所の受け入れ停止や通所利用者の一定期間の休止等稼働を低下させました。水光費等は国の施策で一時的に落ち着きましたが、消耗品や委託費等は引き続き上昇しております。

入所は回復傾向もコロナ前までは戻り切っておらず、短期入所は以前と同程度、通所はまだ回復途上で以前には大きく及ばない状況で、居宅は若干の利用者数減、全体としては前年比 102.4%の収入となっておりコロナ前までもう少しのところとなっています。

直近3期のサービス毎の介護保険事業収益の推移	(単位:円)				
	令和 3年度	令和 4年度	前年比	令和 5年度	前年比
特養	248,385,605	239,412,200	96.39%	252,631,715	105.52%
通所介護	40,740,937	45,504,934	111.69%	42,747,780	93.94%
短期入所	59,306,252	43,601,722	73.52%	42,807,943	98.18%
居宅支援	15,994,080	16,713,010	104.49%	16,127,980	96.5%
訪問介護	5,801,213	555,592	9.58%	0	0%
全体	370,228,087	345,787,458	93.4%	354,315,418	102.47%



法人全体の介護保険事業収益は前期比 102.4%(8,527 千円増)の 354,315 千円、その他の収益を含めたサービス活動収益は前年比 103.1%(11,013 千円増)の 363,780 千円となりました。

2【部門別の状況】

1). 特別養護老人ホーム事業 定員 50名

サービス活動収益計(1) (その他の収入を含めた総収入) は介護保険事業収益の回復、補助金の増加もあり前期比 106.4%で 15,734 千円増の 262,096 千円となりました。入居者延人数(請求人数)は前期比 761 名増の 16,739 名、1 日平均 45.7 名で平均介護度は大きく変わっていません。コロナの影響はありましたが稼働は回復傾向にあります。サービス活動費用計(2)は同 101.2%で 2,954 千円増加し 241,713 千円、サービス活動増減差額(3) (売上総利益) は同 268.1%で 12,779 千円増の 20,383 千円となっております。

2). 通所介護事業 定員 30名

サービス活動収益計(1)は前期比 93.9%で 2,757 千円減の 42,747 千円となりました。利用者延べ数は前期より 185 名減の 4,906 名でした。期末にかけて利用回数の多い介護度の重い方が複数施設入所された影響がでております。平均介護度は前年と大きく変わっておりません。サービス活動費用計(2)は同 97.3%で 1,497 千円減の 53,694 千円となりサービス活動増減差額(3)は 1,259 千円減の△10,946 千円となっております。

3). 短期入所介護事業 定員 10名

サービス活動収益計(1)は前期比 98.2%で 793 千円減の 42,807 千円となりました。利用者延人数(請求人数)は前期より 30 名減の 3,078 名となっております。ほぼ前期並みでコロナ禍前の水準です。サービス活動費用計(2)は同 101.2%で 465 千円増の 40,117 千円となりサービス活動増減差額(3)は同 68.1%で 1,258 千円減の 2,690 千円となっております。

4). 居住支援介護事業 (ケアプラン作成)

サービス活動収益計(1)は前期比 96.5%で 585 千円減の 16,127 千円となりました。入院・入所により利用者数が若干の減少となっております。サービス活動費用計(2)は同 98.3%で 285 千円減の 16,417 千円となり、サービス活動増減差額(3)は 299 千円減の△289 千円となっております。

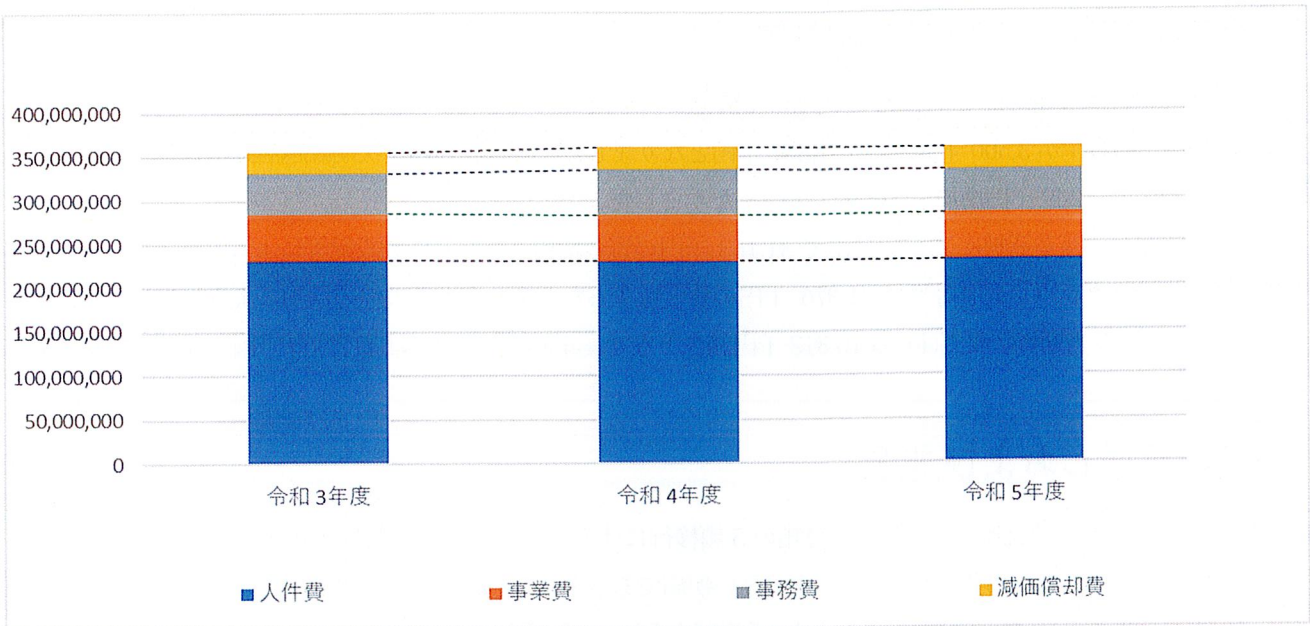
3【サービス活動増減差額の状況】 事業活動計算書

法人全体で、サービス活動収益計(1)が前期比 103.1%(11,013 千円増)の 363,780 千円、サービス活動費用計(2)が前期比 99.7%(1,159 千円減)の 355,794 千円となっております。サービス活動増減差額(3)(営業利益)は、前期比 12,172 千円増の 7,986 千円を計上しております。

サービス活動外増減の部では、収益 75 千円に対し、費用は 812 千円を計上。サービス活動外増減差額(6) (営業外損益) は△736 千円となっており、以上の結果、経常増減差額(7) (経常利益) は前期比 11,771 千円増の 7,249 千円を計上しております。

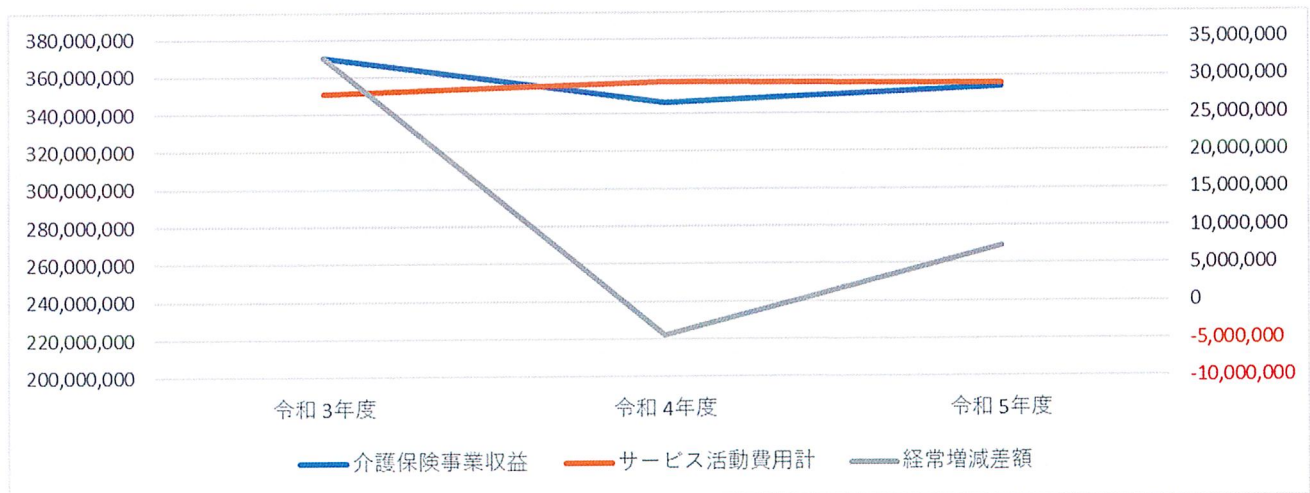
特別増減の部は、固定資産の除却損を 9 千円計上しております。結果、当期活動増減差額(11) (当期利益) として 11,771 千円増の 7,249 千円を計上しております。

直近3期のサービス活動費用の推移	(単位:円)				
	令和 3年度	令和 4年度	前年比	令和 5年度	前年比
人件費	231,397,244	230,412,145	99.57%	230,778,541	100.16%
事業費	53,459,643	52,734,632	98.64%	53,418,702	101.3%
事務費	46,180,423	51,754,296	112.07%	49,523,064	95.69%
減価償却費	23,830,187	25,801,327	108.27%	25,766,018	99.86%



直近3期のサービス活動増減差額の推移 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	前年比	令和5年度	前年比
介護保険事業収益	370,228,087	345,787,458	93.4%	354,315,418	102.47%
サービス活動費用計	351,118,472	356,953,375	101.66%	355,794,200	99.68%
経常増減差額	32,492,704	-4,521,897	-13.92%	7,249,220	***.**



4【財務の状況】 貸借対照表 資金収支計算書

当年度末の総資産は期首より 19,850 千円増の 887,068 千円となりました。内訳は、負債合計が 16,349 千円増の 155,237 千円、純資産が 3,500 千円増の 731,831 千円となりました。純資産の内、次期繰越活動増減差額（次期繰越利益）は期首より 7,249 千円増加し 215,973 千円となりました。

資金収支面では、事業活動による収支(3)で 31,163 千円の資金増加となり、施設設備等による収支(6)においては、設備資金の返済、グラウンド取得等で 41,976 千円の資金減少となりました。その他の活動による収支はありませんでした。以上により当期資金収支(11)は 10,812 千円減少となり、当期末資金残高は 117,369 千円となっております。

II.今後の見通しおよび課題

新型コロナウイルス感染症の感染症法の分類の 5 類移行に伴う様々な制限の緩和もあり社会は次第に以前の状態に戻りつつありますが、高齢者にとってリスクの高い疾病である事は変わらないので引き続き十分な感染対策を行った上で稼働の回復を行っていく必要があります。令和 6 年度の介護報酬改定では諸物価、人件費高騰分の補填として全体でプラス改定とはなりましたが、特に人件費の面では不十分であり大幅な賃上げには至っていない状況です。又、今後、行政による水光費の補助も削減される方向であり物価の動向も含めて費用の増加が見込まれ、慎重な運営が求められます。

次期の最優先課題は現場スタッフの確保とし、これまで行ってきた ICT 機器や介護機器の更なる導入、自由度の高い勤務時間の設定等働き易い職場環境の構築に加え、国の制度を利用した処遇改善、研修受講や資格取得の推進等職員のモチベーションアップに繋がる施策も行っていきます。続いてハード面でも老朽化した機器類の更新を引き続き行っていきます。

Ⅲ.業務の概要

1. 主要な事業内容

- イ.目 的 (1) 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム
(2) 第二種社会福祉事業 イ.老人デイサービス事業
ロ.老人短期入所事業
ハ.老人居宅介護等事業
ニ.生計困難者に対する相談支援事業
(3) 公益事業 居宅介護支援事業

ロ.事業内容

特別養護老人ホーム いちご 入所定員 50名
短期入所生活介護 いちご 入所定員 10名
デイサービスセンターいちご 通所定員 30名
いちご ケアプランサービス

2. 事業所の概況

名 称 特別養護老人ホームいちご
所在地 三潞郡大木町大字大角 1133 番地 1
構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 4 階建
面 積 延 4197.83 平方メートル

3. 基本金の状況

令和 6 年 3 月 31 日現在 383,396,000 円

4. 役員の状況

評議員	山口 博 外 6 名
理 事	福田 優子 外 5 名
監 事	池上 隆昭、溝口 恵太郎
	合計 15 名

5. 従業員の状況

特養(短期入所含む)		通所介護		居宅介護支援	
医師(非常勤)	1名	生活相談員	1名	介護支援専門員	3名
統括施設長	1名	介護職(パート含む)	6名		
施設長	1名	(内介護福祉士6名)			
事務員	2名	看護職/機能訓練指導員	3名		
介護支援専門員 (生活相談員兼務)	2名	(内看護師1名)			
介護職(パート含む)	29名				
(内介護福祉士27名)					
看護職(パート含む)	5名				
(内看護師3名)					
管理栄養士	1名				
機能訓練指導員	1名				
介護補助(パート)	3名				
合計	46名	合計	10名	合計	3名

6. 金融機関との主要な取引

取引金融機関	預金額	借入額
福岡銀行大木支店他	90,971,071円	
独立) 福祉医療機構		115,380,000円